校長通信

絶好調！

【第４号】
３０．６．５
校 長　向 笠 真 司

ちょっといい話…

先週、教頭先生が地域の方から一本の電話を受けました。

直接本人にお礼を言いたいが、船橋中学校の生徒だということだけはわかったので、感謝の気持ちを伝えたいと思い、学校に電話されたそうです。

それは、夕方から雨が降った日のこと。夏見台地区のスーパーマーケットの近くで、高齢の女性が倒れて動けなくなっていたそうです。そこを偶然通りかかった中学生が、その女性を助けて近くのお店まで連れて行き、救急車を呼んで救急隊につないでくれたそうです。実はお礼の電話をしてきてくださった方は倒れていた女性の娘さんで、警察からの連絡で初めて経緯を知ったそうです。その中学生の適切な対処がなければ、もしかしたら手遅れになっていたかもしれない、とのことでした。

おそらくは雨の中、ずぶぬれになりながら運んでくれたのでしょう。警察からの一報が入ったとき、娘さんは最悪の事態をも想像されたかもしれません。お母様が助かって安堵すると同時に、母親を助けてくれた人の勇気ある行動に心の底から感謝されたことと思います。実は娘さんも船橋中学校の卒業生とのことで、大切な母親を助けてくれた人が母校の後輩だったことを、本当にうれしく思ったそうです。

この文章を読んでいる生徒の中に、該当する人がいると思います。そのとき、あなたがとった勇気ある行動に感謝し、お礼の気持ちを伝えたい、と連絡をしてきた方がいらっしゃいました。この紙面を借りて伝えます。**「お母さんを助けてくれてありがとう。」**

ちょっといい話　その２　＜雨の日の傘のこと＞

雨の日、本校では、昇降口にある傘たてとして使っているプラスチック製の入れ物を各クラスの美化委員が教室まで運びます。これによって傘の雨のしずくが廊下に落ちることがなく、生徒が滑って転んだりする事故を防ぐことができます。もちろん、下校の時は各自が教室から持って帰るので、下校時に雨が上がっていても傘を忘れて帰ってしまうことが少なく、昇降口に置き忘れられた傘が放置されている状況にもなりません。

雨の日に昇降口が傘であふれかえっていることがない、というのは、想像以上に学校を落ち着いた雰囲気にしてくれます。先日の雨の日に、あらためていい考えだなあ、と思いました。ただし、教室が１階２階であればいいのですが、３階、まして４階ともなると、もはやトレーニング状態です。雨の日の朝は、みんな美化委員に思わず「お疲れ！」「ご苦労さん！」と口々に声をかけています。**美化委員のみなさん、ありがとう！**

ちょっといい話　その３　＜～わたしは不思議でたまらない～＞

この詩は、作者が不思議に思う事柄を並べ、最後に「誰に聞いても当たり前だと言う」ことが一番不思議でたまらない、と結ぶ**金子みすゞ**さんの詩です。国語の授業で１年生が、この詩の真ん中の部分にそれぞれ自分が不思議に思うことを書いて、教室前の廊下に掲示しています。ハッとする新鮮な視点や、子供たちの感性の輝きが見えるもの、中には思わず笑ってしまうものもあります。是非一度ご覧になってみてほしいと思います。